＜小学校＞

9. 家庭学習について

学校では、子どもたちによりよい学習習慣を身につけさせるとともに、学習内容が定着するように授業などで日々努力しています。家庭でも基礎的な学力の定着と向上を図るために家庭学習を充実してください。家庭と学校がさらに連携を深め、より確かな学力を身につけましょう。

家庭学習の充実を図りましょう。

1　家庭学習の習慣や方法

（1）家庭学習の習慣（家庭学習のポイント）

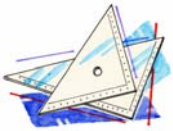
① 毎日必ず学習する。　→　家庭学習の習慣化
② テレビを見ながらしない。　→　集中力の向上
③ 机の上をきれいにして姿勢よく行う。　→　学習の効率化
④ 学習が終わったら、次の日の準備をする。　→　忘れ物の防止

（2）発達段階による家庭学習

低学年 → 学校の宿題ができる。家庭でも学習しようという気持ちが持てる。
中学年 → 学校の宿題を確実にできる。宿題以外にも少しずつ自主学習ができる。
高学年 → 宿題が出なくとも基本の学習ができる。興味や必要性のある自主学習ができる。

（3）家庭学習の時間のめやす

学年×１０分（３年生ならば、３×１０＝３０分）



（4）家庭学習の方法

国　　語	算　　数	社会・理科・総合
○漢字練習　○漢字ドリル ○意味調べ　○日記 ○教科書の音読・視写 ○漢字調べ（部首・書き順） ○テストやプリントの問題をもう一度解く	○計算練習　○計算ドリル ○スキルアップドリル ○教科書の問題 ○百マス計算 ○テストやプリントの問題をもう一度解く	○学習したことに関係のあることを資料集やインターネットなどで調べる。 ○授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる。 ○学習の予習（教科書を見る）

日常生活	
	○読書をしましょう。 ○不思議に思ったことなどをインターネット等で調べてみましょう。 ○国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近において調べましょう。 ○日本地図、世界地図、地球儀を身近において調べましょう。 ○新聞や広告に目を通してみましょう。 ○自然や生き物とふれ合い、観察してみましょう。 ○詩や歌の暗唱をしましょう。

2　家庭学習における保護者の役割

（１）学習時間の確保を！

塾、習い事、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合って、無理のないように学習時間の設定をして下さい。

（２）学ぶための環境づくりを！

テレビをつけながら学習しても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境でできるよう、各家庭で工夫したり、家族みんなで話し合ったりして下さい。

（３）学校との連携を！

お子さんの学習の様子で、気になることがありましたら担任と相談しましょう。

（４）見届け･励まし、そして一緒に！

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけて下さい。ほめたり励ましたりしてやることで、お子さんはどんどんやる気を出します。学習したことに、コメントを書いてあげたり、ごほうびシールを貼ったりするなど、見届けをお願いします。

また、学習の様子を把握しながら、親子あるいはご家族でできるだけ一緒に取り組んで下さい。

≪学習の基礎は規則正しい生活から≫

- ◎ **早寝早起きをする。**
- ◎ **朝ご飯を食べる。**
- ◎ **テレビやゲームをする時間を話し合って決める。**
- ◎ **自分で学習準備をする。**

参考文献　「家庭学習の手引き」　取手市教育委員会
「家庭学習の手引き」（平成１９年度）　みなかみ市立水上小学校

通知表の見方

平成　　年　　月　　日

保護者　様

〇〇〇立〇〇小学校

通　知　表　の　見　方　に　つ　い　て

１　各学期の学習状況は観点別に、各教科の欄にＡ・Ｂ・Ｃで表します。

通知表には身につけさせたい学力を具体的に文章で表し、１・２学期を各教科３～５観点で評価します。評価の考え方は、**「絶対評価」**です。**「絶対評価」とは**・・・目標に準拠した評価

学習目標に到達していれば、「Ａ」「Ｂ」や「３」「２」になります。

個人の進歩や向上を認める評価です。表記は、Ａ・Ｂ・Ｃ欄に「〇」で記入します。

Ａ	各観点の内容を十分達成している。
Ｂ	各観点の内容をおおむね達成している。
Ｃ	もう少し努力を必要とする。

※　判定の材料はテストだけではありません。多くの資料、作品、学習状況等の中から判定がされます。
（資料・作品等の場合は、学年ごとに基準を設けています。）

２　評定（１・２・３）は教科の総合評価です。

（１・２年生は、評定はありません）

通知表に記載された観点項目を総合的に評価します。学年ごとに基準を設けて評価をしています。

表記は、評定の欄に「１」・「２」・「３」で記入します。

３	優れている。（教科の内容を十分達成している。）
２	よい。（教科の内容をおおむね達成している。）
１	努力を要する。

３　学校生活の状況（行動の記録）

各教科、道徳、特別活動、学校での生活など教育活動全般にわたって観察した児童の記録をもとに評価するものです。教師の観察記録、児童の自己評価等によって、趣旨に照らして十分満足できる状況であれば「〇」がつきます。

４　総合的な学習の時間（３年生以上）

本校の総合的な学習は、各学年の発達段階に沿ったテーマを設定して取り組んでいます。どの取り組みも子どもたちが生きる力と学校教育目標と絡めて「やさしい心」「わくわく勉強」「たくましく運動」という児童像を培うことを目標としています。

数値的な評価は行わず、学習の成果、児童のよい点、進歩の状況などを踏まえ、身につきつつある資質・能力を文章で記述します。

５　特別活動の記録（１・２年生のみ）

学級の係の仕事、学校行事等における活動の様子を文章で記述します。

６　総合所見

児童一人一人の学習や生活状況の中から、個性を伸ばすために、児童のよさ、大きな成長などを認めた文章でお知らせします。また、３年生以上は特別活動（学級の係、クラブ、委員会、学校行事等）についても、特に顕著な活動を認め、文章で記述します。

お　わ　り　に

通知表で表すことには限界があります。日々の子どもたちは成長しています。その都度認め、励ましています。これからも子どもたちの日頃の取り組みや変化をしっかり見て、がんばりや成長はタイムリーにほめ、つまずきや課題に対しては家庭と連絡を取りながらよい方法を見つけていきたいと思います。

子どもたちの成長を保護者の方とともに見つめ協力して、子どもたちが学校生活に喜びを感じ、自ら高め、意欲と自信あふれる子どもたちであってほしいと願っております。